

区分：人文・社会科学

授業科目名	法と政治（政治学）				学期	曜日	校時
英語名	Law and politics (Introduction to Politics)						
担当 教官名	谷川昌幸	単位数	2単位	必修 選択	選択	後期	木曜日 校時
授業のねらい・内容・方法							
<p>政治は、私たちにとって逃れることのできない宿命である。政治は、ある時は軍隊や警察を通して暴力的に、またある時は行政機関やマスメディアなどを通してソフトに、市民生活に介入し、私たちを統治に服従させる。現代では生活のどの領域も政治と無関係に存在することはできない。いくらある人が「政治には関心がない」と宣言しても、政治の方がそれを許さない。政治は、無邪気な政治的無関心すらも一つの政治的態度として政治の中に取り込み、統治のために利用するのである。</p> <p>もし政治が現代人の宿命だとするなら、私たちの第一の関心が何であるにせよ、政治を市民的教養として学び、政治に対処するのが賢明な選択である。たしかに政治を学ばなくても日常生活でとくに困ることはないかもしれない。しかし、政治は最終的には暴力を担保とする支配であり、私たちの命運を左右する劇薬である。処方方を誤らなければ政治は良薬だが、誤ると私たちを破滅させる毒薬と化す。</p> <p>この授業では、現代政治のこのような特質を理解するため、政治学の基本的な概念や理論を取り上げ、できるだけ現実の具体的な政治問題と関連づけながら考察していく予定である</p>							
テキスト、教材等							
プリント資料を配付。参考書等は適宜紹介する。							
対象学生	成績評価の方法				教官研究室		
全学部	定期試験と授業中の小レポート						
授業計画							
<ol style="list-style-type: none"> 1．社会科学としての政治学（第1回） 2．政治とは何か（第2～4回） 3．近現代の国家（第5～8回） 4．現代政治の制度と過程（第9～12回） 5．グローバル化と政治：分権化・国際化・民際化（第13～14回） 6．期末試験（第15回） 							